

令和2年度 蔵王からのお便り(GSS活動日誌)

…:…:…:… 【6月下旬～7月上旬の活動】 …:…:…:…

◆6月25日 レストハウス周辺および聖山平口から股窪を巡視し、午後は雨が強くなったため蔵王自然の家およびことりはうすを訪問しチラシを置かせていただきました(今年度は感染症防止のためチラシは設置のみとし、配布は行いません)。



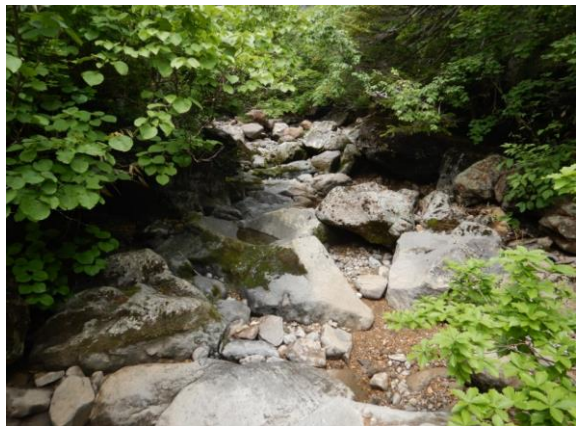
今日の刈田岳山頂は霧の中でした。



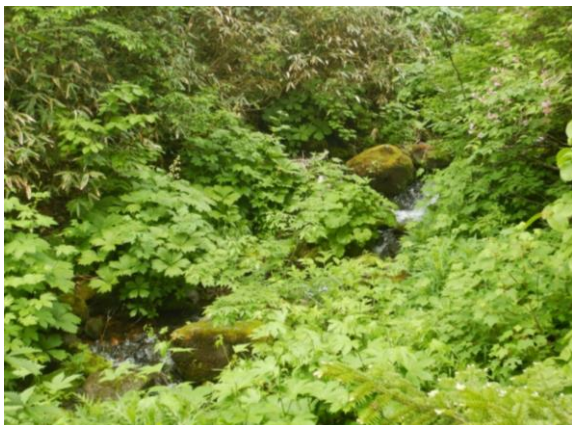
岩沼市から来られたご高齢の女性。お元気でした！



股窪へ巡視開始



こちらは涸沢のようです。



葉に隠れて見えづらいですが、こちらは水量が多いです。



徒渉用の鉄板



沢沿いにヤグルマソウの花が咲いていました。



ゴヨウツツジ(シロヤシオ)は花が咲き終わりました。



ツクバネソウも花が終わりました。



エンレイソウも実になり始めています。



ガマズミはきれいに咲いていました。よく見ると虫がとまっています。



水滴が美しい



登山道の両側にマイヅルソウが群生しています。



マイヅルソウ。白い小さい花がたくさん付いています。





ホオノキの大きな葉っぱ



ヤマブドウ。今年はたくさんの実が付きそうです。



シシガシラでしょうか？



こちらはオンダ？とても大きいです！



ベニバナイチヤクソウの群生



何の泡でしょう？アワフキムシという昆虫を作るそうです。



ヨツバヒヨドリが咲き始めます。



アザミ。季語では夏薊と秋薊があるそうです。



苔が水に濡れてとてもきれいです。昨年秋には栗原市で全国苔フェスティバルが開催されるなど奥深い苔の世界…。



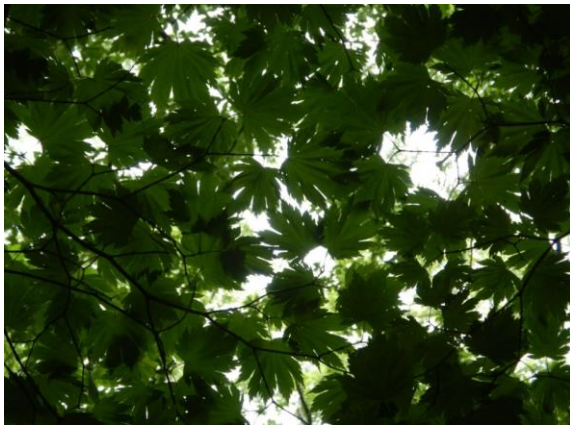
よく晴れて、牡鹿半島や太平洋まで望めました。



アイコ(ミヤマイラクサ)。山菜ですが、イラクサは「刺草」と書き、素手で触ると痛い目に遭います。



ミズ(ウワバミソウ)、こちらも山菜として食されます。



葉の重なり、陽が透けて美しい。

◆7月2日 登山口から前烏帽子岳まで巡視しました。



前烏帽子岳登山口を出発！



昨秋の台風19号の爪痕が見られます。



小阿寺沢を渡ります。



ブナの巨木、思わず見上げます。幹周り4.4mでした。



登山道から太平洋を望む。



蔵王自然の家で取り付けけた道標



風格のあるミズナラの古木

◆7月6日 馬の背にて巡視を行いました。



エコラインからの眺望。向かって左から船形山、北泉ヶ岳、泉ヶ岳。



刈田岳駐車場でウソに会えました。



船岡自衛隊が災害対応訓練を行っていました。



お釜に赤い傘が咲いていました。



珍しい白いハクサンチドリ



通常色のハクサンチドリ



ネバリノギランの群生



ウラジロヨウラクがきれいです。



雨の中、仙台からの登山者がいらっやっていました。



仙台からの登山者に蔵王の自然について説明しました。



今年も絶妙なバランスの岩は健在です。



コマクサとお釜。蔵王ならではの景色です。



熊野岳直下でコマクサが満開です。遠景(左)と近景(右)。



大東岳



蔵王ロープウェー 蔵王地蔵山頂駅



オノエランの見事な株



県内からの登山者を案内しました。



◆6月下旬～7月上旬 蔵王の動植物



ホシガラスの羽根



イワヒバリ



ウラジロウラク



ミヤマヤナギ(ミネヤナギ)



ミネカエデ



ミヤマニガイチゴ



マルバシモツケ



ゴヨウマツ



ハリギリ



ニワトコ



エゾアジサイ



コケモモ



クモマニガナ



シロバナニガナ



ミヤマオダマキ



サンカヨウ



ツクバネソウ



ミヤマイラクサ(アイコ)



ギンリョウソウ



キクラゲ